

## 令和5年度 自己評価・年間反省

コロナが5類になり、コロナ前の保育、行事が再開できるようになりました。コロナの感染状況も、以前よりひどくならず、対応も落ち着いて行えたと思います。

大きな行事では、4年ぶりの再開と言うこともあり、現場で忘れていたり改善点など感じました。しかし、失敗もあったからこそ、来年度の反省もしっかり出来たと思います。

まずは運動会で、すべての子どもたちに見せ場を「」という思いから、マーチングの時間が長くなってしまったりしたので、令和6年度は、そのことも踏まえ、マーチングの全体を決めていきたいなと思いました。夏祭りなどはコロナ渦を機に、規模を小さくして行うことを決定しました。ほとんどの園児や保護者が参加するようになり、園庭での開催でしたが混雑も見られたので、また工夫し、職員との話し合いなどきちんと行い、来年度の開催に向けて、改善していこうと思います。

行事が始まり、保護者の意見も聞ける機会も増えたので、今後は、新しいやり方はもちろん、昔ながらのことも、良い部分は残していけるようにしたいと思います。

参観日では、全園児での開催は、混雑したので、改善に向けて職員で話し合うことにしました。色々な改善点を考える機会となった1年でした。

また、研修では、今年も不適切保育について、理解を深めました。自分自身の人間性を豊かにすることが、一番の予防であり、そのことが良い保育、良い保育士の資質になることを学ぶことが出来ました。職員全体が心にとめられたと思います。今後の保育にすぐさま、実践できるよう会議などで働きかけて行きたいと思いました。保育では、今年は保護者の意見も多数聞くことができたので、保育の質を高められることならば、きちんと保育士間とはなし合い、改善できるようにしたいと思います。

コロナ渦は去りましたが、感染症自体は、去年よりたくさんの方が流行った一年でした。感染対策をきちんと職員全員が周知し、子どもたちの安全と健康に留意し努めた一年だったと思います。そして、子どもたちをお預かりしている時間が、子どもたちにとって楽しい時間になるよう、職員で務めるとともに、保護者の方々にも、安心して預けられる環境と、信頼関係を築きられるよう心がけたいと思います。来年度も今年度の経験、反省を踏まえて、全職員子どもたちに寄り添った保育を目指して、連携をとって行きたいと思います。